

氏名： 王 傑 (WANG Jie)

所属： 人間発達教育研究センター グローバル COE

職名： 特任講師

学位： 1994.7 文学学士／Bachelor of Arts、1997.3 文学修士／Master of Arts

2006.3 学術博士／Ph.D

専門分野： 教育社会学／Sociology of education

E-mail： wang.jie@ocha.ac.jp

#### ◆研究キーワード / Keywords

社会階層／教育機会／授業料負担／学生支援／キャリアガイダンス

social class / educational opportunity / tuition sharing / student assistance / career guidance

#### ◆主要業績

・共著「中国の授業料と奨学金制度の変容及びその実施状況」小林雅之編著『各国の授業料・奨学金制度の比較研究』第8章 東信堂出版社

・論文翻訳「日本基 &#30784; 教育中の学 &#19994; 成就制 &#32422; 因素分析」耳塚 &#23485; 明原著  
和文中訳 中国教育経済学会編『教育与経済』(EDUCATION&ECONOMY) 2008 年第2期 59 - 65 頁、華中師範大学出版

・論文翻訳「中国高等教育の財政支出のパフォーマンス評価に関する研究」劉国永原著  
中文和訳 東京大学大学総合教育研究センター報告書

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

これまでの研究は、1) 拡大と教育機会にかかわる理論をレビューしマクロレベルで中国高等教育拡大のプロセスと特徴、授業料徴収の制度化過程を分析した、2) 中国の4国立大学における質問紙調査のデータを用いて、教育機会の階層間格差およびその変化、階層別の教育費負担状況、学生援助の階層間受給状況および卒業後の進路志向と階層との関連などを実証的に分析した。研究結果の一部は共著『各国の授業料・奨学金制度の比較研究』の第8章として出版される。中国における学生援助の行政省間格差、大学間格差などを把握するため、山東省の学生援助政策を反映する資料を収集し、同省に所在する2大学の学生援助センターのスタッフを対象にインタビュー調査を行った。また中国国公立大学の就業指導、キャリアガイダンスの取り組み状況を把握するための現地調査のデータを分析している。

Up to now, I have been engaged in the following research chiefly. 1) I analyzed the process and features of the expansion of Chinese higher education, the systematized process of the tuition collection. 2) Using the data of a questionnaire survey that made in 4 national universities, I demonstrated the class-gap of higher educational opportunities and its changes, the burdening state of educational expenditure among classes, the receiving state of student assistance, the educational continuation and occupational attainments among undergraduates. To analyze the regional divide and the difference among universities of student assistance, I gathered the related materials and visited 2 universities located in Shandong Province in March 2009. Besides, I am analyzing the data concerning the employment support and career guidance collected from 11 universities and 1 college in China.

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

### グローバル COE 人間発達科学論 I

いくつかの文献を紹介し、教育機会均等の理論、教育社会学における平等観の変容を把握し、国内・海外の社会現象や調査データを挙げながら、教育格差問題の考察視座と格差の是正策を受講生といっしょに考えた。受講生は教育機会均等の重要性和限界を理解できるように、また身の周りに存在する教育的・社会的格差を敏感に感知できるようになった。

### グローバル COE 人間発達科学論 II

数人の若手教員とオムニバス形式で講義した。皆さんは国際的な視点または格差の視点をもってそれぞれ自分の研究業績に関わった講義を行い、グローバル化や格差問題の進行実態を考察した。またグローバル COE が主催するシンポジウム・セミナーの参加、議論を通じて国内外の研究動向を学生に把握してもらった。

### Human Developmental Sciences I

I explained the theory of Equal Educational Opportunity and the changes of egalitarianism in the field of Educational Sociology. It is important to understand the studying angles of educational opportunities and to discuss the policy of reducing gaps, by producing the social phenomena and data in Japan and other countries. These were tried in this lecture. The students became to be able to grasp the importance and limitation of Equal Educational Opportunity, and feel all kinds of educational-gaps, social-gaps that exist in the world.

### Human Developmental Sciences II

I lectured in an omnibus form with several young teachers. We recommended the results of our studies, explained the present situations on the globalization and gap-widening. The students had a chance to understand the newest trend of the related research by attending the symposium and seminars organized by Global COE Program.

## ◆研究計画

### 計画 1 中国国公立大学のキャリアガイダンスの取組状況に関する調査報告書の執筆

これまで、耳塚教授らと中国の3都市にある12大学のキャリアセンターを訪問し、中国国公立大学の就業促進、キャリアガイダンスの取り組み状況を調査した。「中国高等教育におけるキャリアガイダンス発展の社会的背景と実態」を題とする論文を投稿する予定である。公立大学は学生募集、経費確保などの面で国立大学と異なる点が多い。所轄自治体の就職指導方針の違いもあり、キャリアガイダンスの取組における国公立間の差の存在が見られる。これらの分析結果をまとめた調査報告書の執筆が予定されている。

### 計画 2 中国高等教育における授業料徴収と学生援助の新動向を把握する

調査研究中国の大学の授業料徴収と学生援助は変化しつつある。国立師範大学の師範系学生を対象とする授業料・学寮費免除および生活手当支給の再開、履修単位数に基づく授業料徴収モデルの試行的導入、各種「助学ローン」の利用急伸などが学生の進学、学業継続に大きな影響を及ぼしている。授業料徴収と学生援助の新動向を把握するため、中国の国家教育部、財政部および数大学の学生援助センターを訪問する予定である。この調査は文部科学省平成21年度先導的大学改革推進委託事業「高等教育段階における学生への経済的支援のあり方に関する調査研究」の一環として実施される。

### 計画 3 中高生の大学教育費負担、奨学金認識にかかわる調査の実施

学内の JELS (Japan Education Longitudinal Study) という調査の中3質問調査票、高3質問調査票に、1) 大学に進学する場合の教育費負担額の予測、2) 奨学金に関する認識(高3の場合、応募状況)などの質問項目を加え、不況のなかの中高生の進路選択、大学教育費と奨学金に関する情報所有の実態、及びさまざまな考え方を考察する。

### 計画 4 小中学生保護者の子どもへの教育期待と奨学金認識にかかわる調査の実施

学内の JELS (Japan Education Longitudinal Study) の小3、小6、中3保護者調査の質問票に、1) 子どもの大学に進学する場合の教育費負担の予定、2) 子どもの大学教育費の準備状況 3) 奨学金の利用などに関する質問項目を加え、不況のなかで小中学生の保護者が子どもへの教育期待、大学教育費の負担および奨学金の利用・返済に関して、どのように考えているかを明らかにする。

## ◆メッセージ

女子学生が自ら進んで行動する、いろいろな面で鍛えられる環境はお茶大にあります。教育・研究の更なる質的向上と、意欲にあふれて専門知識と責任感をもった輝かしい女性の育成を目指し、教職員は日々尽力しています。